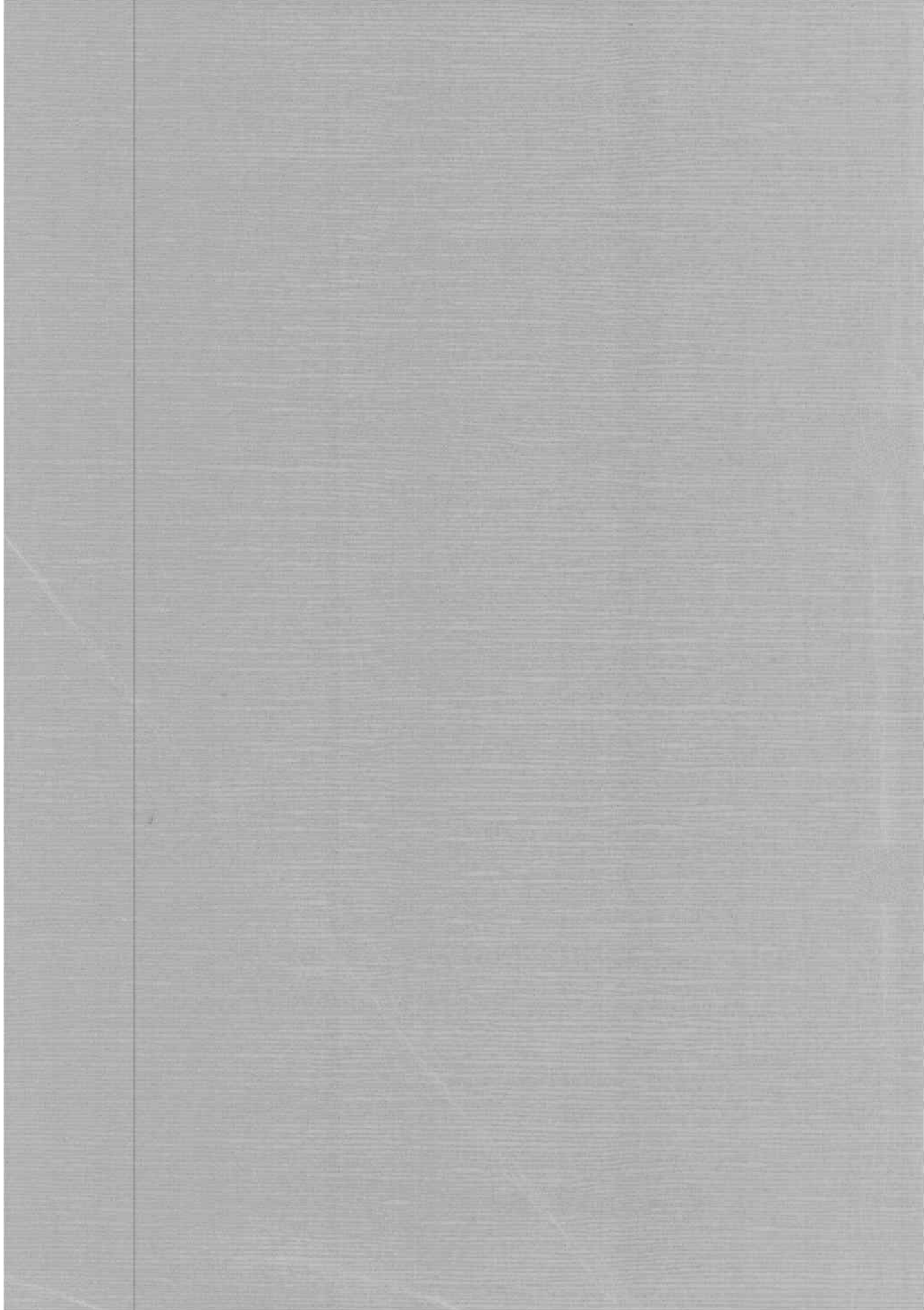


紀 要

第 12 号

<平成 15 年度>

茅野市八ヶ岳総合博物館



はじめに

当博物館は郷土博物館として設置されて以来15年を経ました。この間常設展示をはじめ、様々な企画展、ロビー体験、観察会など多角的に活動を展開してきました。それなりに地域に根ざした博物館としての使命をはたしてきましたが、なお一層市民に密着した活動が望まれるところです。

そこで本年度は館の目の前にある小泉山の再生に取り組まれた体験の森創造委員会と連携し、元旦博物館まつり（小泉山の元旦登山ご来光・箏・三味線の演奏・レコードコンサート・すいとん等）を共催することができました。いままでどちらかというと、市民の方々に対して待ちの姿勢が強かった館が、地域に開かれ、親しまれ、地域の方々と共に歩む日常化された博物館として第一歩が踏み出せたのではないかと思います。

また本年度、特筆される貴重な資料の寄贈が2点ありました。1点は6月に八ヶ岳火山列の地質学的研究をライフワークとしてこられた、故河内晋平氏の資料（岩石資料約12,000点、文献・専門書等約7,000点・他調査用具など）を寄贈されました。郷土の山八ヶ岳火山の生いたちを探る貴重な資料の充実となりました。

2点目は、郷土が誇るアララギ派の歌人島木赤彦が40歳の油がのり切った時に書いた芒の歌5首を、その後六曲半双金屏風に表装し、収蔵しておられた今井久榮さんより寄贈されました。これまた当博物館内の八ヶ岳麓文芸館にとって得難い資料です。

このように地域の方々のご支援により着々と収蔵資料の充実が図られ感謝いたします。

おわりになりましたが、赤彦六曲半双金屏風寄贈に当たり、多大なご尽力をいただいた北澤敏郎先生にはその経緯を、博物館ボランティアの両角英晴さんには年四回の野鳥観察会の資料をご寄稿いただきました。ありがとうございました。

平成16年3月

茅野市八ヶ岳総合博物館

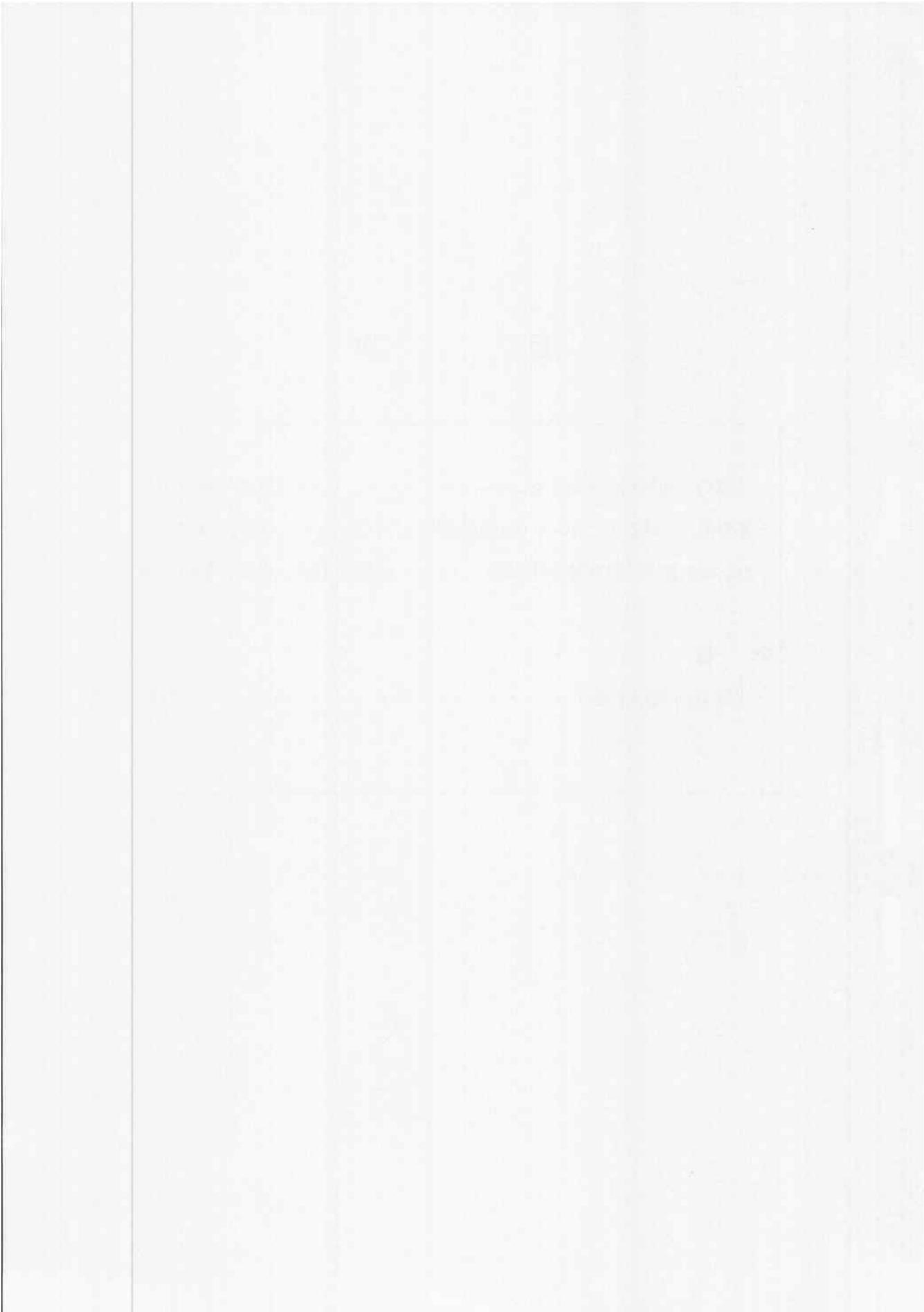
館長 小池 春夫

目 次

- ・赤彦の六曲半双金屏風について・・・・・・・・・・北澤 敏郎 (1)
- ・茅野市におけるオオヨシキリの繁殖分布について・・・・・・・・両角 英晴 (3)
- ・八ヶ嶽岳麓文芸館寄贈資料目録・・・・・・・・・荻原 儀久・小堀 幸恵 (10)

年 報

- ・平成 15 年度事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (27)



赤彦の六曲半双金屏風について

北澤 敏郎 *

アララギ会員で教員であった竹内泰比呂（出身不詳）が大正二年の寒い頃、赤彦が郡視学として豊平小学校に参観した折のことである。竹内は四年生の担任で綴り方の授業を見て頂いた。その後二年経た大正四年の暑中のある日、赤彦が高木の家に帰省したと聞くと、すぐお伺いした。顔を見ると竹内君が上がってくれ給えと元気な声であった。赤彦から歌や四方山話を聞かされた。其の後に竹内がお願いした歌を書く事を承知された。竹内は嬉しくて暑い湖辺の道を上諏訪に戻って紙を買って帰った。

赤彦は大きな硯を出したので、精出して墨をすった。奥さんも少し手伝われた。やがて赤彦は太い筆に墨をふくませて、新刊の歌集『切火』の中から椿の歌と芒の歌を選んだ。

赤彦の筆を持った手は新しい唐紙の上を滑るように忽ち五枚ずつ書かれた。赤彦の太い筆先から生まれる一字一字は、撥ね上がる生魚の様にぴんぴんしていたという。十枚の全紙を書き終ってから赤彦は、大分大きいな。こんな大きい字はこれが書初めの書終りかもしれないよと言って、幾重にも新聞紙に包んで竹内に下さった。それが芒の歌五首である。

さてその後竹内より、当時アララギ会員で赤彦に師事していた今井野菊（本名すみ江茅野市駅前寒天問屋平左衛門夫人）の手に渡った。昭和七年七月の事である。そして野菊さんは京都でこの五枚を六曲半双の金屏風に表装して、今日まで門外不出として所蔵せられた。屏風は一枚ずつに五面残る一面は白紙である。

赤彦の次男健次氏は、書に付いて初期中期晩期の三区分して、歌集『切火』以後の大正四五年になると、赤彦の壮年時代を思わせる意気旺盛の書体となり、その代表となり、その代表と思われる作は八丈島で詠んだ島の歌で、紙面いっぱいにあふれる若さと力が跳躍している自由奔放の趣があり、この中期を代表する書体だと書いている。屏風の価値に付いては、日本中にこれほどの大物は無い。字も赤彦の最も油の乗り切った齢四十歳の時であり、歌も書も共に全くすばらしく、正に世の逸品である。

野菊さんは、諏訪高女入学の時からアララギに入会して赤彦の選を受け、後に森山汀川にも師事し、歌集に『少林集』『行雲』がある。また茶道華道の師匠であり、郷土史の研究もした。

北澤は野菊さんとは同じ汀川門下であり歌仲間として若い頃より親交があり、また遠縁にも当たることもあり、平成十五年八月、次男の今井久榮氏が作品の寄贈を申し出たので、北澤を介して市の岳麓文芸館に寄贈が決まったのである。

*八ヶ岳総合博物館専門委員

芒の歌五首

- 船を出でし心現³²⁷なし真青なる芒の中に入りけるかも
- いとどしく青み静もる芒の中一人ぼつたり行きとどまらず
- 青、し芒の中に一匹の牛を追ひ越しはろかなる道
- 島すすきい行き寂しむ身ひとりのうしろに大き海光り見ゆ
- 芒の島吾が乗りて来し一つ船けぶりを吐きて去るにかあるらし

島木赤彦



平成 15 年 8 月 6 日金屏風一般公開にて、北澤敏郎先生の解説

茅野市におけるオオヨシキリの繁殖分布について

両 角 英 晴 *

1、はじめに

オオヨシキリ (大葦切) スズメ目 ヒタキ科 ウグイス亜科

特徴 全長 18.5cm 体の上面は黄色味のあるオリーブ褐色、下面は淡色で胸から脇が茶褐色を帯びる。淡い眉斑がある。

オスはアシの茎に直立した姿勢で止まり、ギョギョシギョギョシ、ケケシケケシ、カチカチなどと昼間だけでなく夜もさえずる、口の中は橙赤色で目立つ。

習性 夏鳥として九州以北に渡来し、川岸や河口、海岸、湖沼、畔などのアシ原に棲む。草の間を移動して餌の昆虫を探すが、飛んでいる昆虫を飛び立って捕まえる事もある。イネ科の植物の葉を使い、数本のアシやヨモギの茎の間にコップ型の巣を作る。

平成15年茅野市環境にやさしいまちを創る市民の会により「身近な生きもの調べ」が児童をはじめ多くの市民の参加で、動植物23種にて茅野市の環境がどのように変化をしているのか調べる為行われました、その中で全市民的な生息数を確認できる物としてオオヨシキリを決め繁殖時期の後期にさえずっているオスのオオヨシキリを一つの縄張りとしての場所、数の調査を市内各河川、湖沼、水田地帯などを回り実施しました。

2、調査地

市内各河川、湖沼、水田地帯

3、調査方法

各調査地を回りさえずりの確認場所を記録紙と地図上に落とし確認しました。

4、結果及び考察

今回確認出来たさえずり個所は106箇所及びました、単純にペアであるとすると茅野市には212羽のオオヨシキリが来ていると考えます。

上川では、広瀬橋から江川橋、やすらぎ橋の間が一番集中していました。運動公園図書館前や渋川、滝の湯川合流附近も多く確認できました。1000m以下のヨシの河原全域が生息地でした。

柳川も上古田、下槻木などが多く合流部から泉野上槻木までのはぼ全域にいました。

宮川は少なく、坂室から上流金沢方面や、弓振川での確認はありませんでした。白樺湖、蓼科湖でも多くの確認が出来ました。

* 博物館協議会委員

茅野市「身近な生きものしらべ」オオヨシキリ地域別生息個所

平成15年6月4日より7月8日まで

河川、地域名	メッシュ番号	確認数	河川、地域名	メッシュ番号	確認数
上川	121	7	柳川	124	1
	101	9		125	4
	80	2		126	1
	81	5		106	7
	82	8		107	1
	103	5		86	2
	143	2		108	6
	161	6		109	1
	181	2			
	182	4			
渋川	182	8	宮川	100	1
	184	1	80	1	
音無川	200	3	59	1	
			60	1	
白樺湖	300	1	泉野	129	1
	310	4			
蓼科湖	219	5	農場下	67	4
	220	2			
	小計	74		小計	32
			合計		106

「身近な生きもの調べ」調査結果一覧表

NO.	生きもの名前と番号	見つけた場所とその番号	見つけた日時	天気	見つけた数	気付いた事
	オオヨシキリ 9	上川 神橋下	6月4日 午前8時	曇り	1	さえぎり
	同	上川 神橋上	同	同	1	さえぎり
		宮川 新井	同	同	1	さえぎり
		音無川 馬流橋上	6月5日 午前7時	晴れ	1	さえぎり
		音無川 馬流橋下	同	同	1	さえぎり
		音無、滝の湯川合流	同	同	1	さえぎり
		上川 塩沢	同	同	1	さえぎり
		上川 中大塩下	同	同	1	さえぎり
		上川 粟沢橋上	同	同	1	さえぎり
		上川 通勤バイパス口	同 午前8時	同	1	さえぎり
		上川 上川橋下	同	同	1	さえぎり
		上川 神橋下	同	同	1	さえぎり
		上川 やすらぎ～江川橋	同	同	5	さえぎり
		上川 江川～広瀬橋	同	同	7	さえぎり
		上川 神橋下	6月6日 午前8時	晴れ	2	さえぎり
		上川 やすらぎ～江川橋	同	同	6	さえぎり
		上川 神橋上	同	同	2	さえぎり
		上川 公園大橋上	6月7日 午前8時	晴れ	1	さえぎり
		上川 スケート横	同	同	1	さえぎり

「身近な生きもの調べ」調査結果一覧表

NO.	生きもの名前と番号	見つけた場所とその番号	見つけた日時	天気	見つけた数	気付いた事
	オオヨシキリ 9	上川 粟沢橋上 103	6月7日 午前8時	晴れ	1	さえぎり
		上川 柳川合流 104	同	同	3	さえぎり
		柳川 下古田公民館下 124	同	同	1	さえぎり
		柳川 上古田 125	同	同	4	さえぎり
		柳川 上古田 126	同	同	1	さえぎり
		柳川 上古田 106	同	同	7	さえぎり
		柳川 樽姫の滝上 86	同	同	2	さえぎり
		柳川 樽姫の滝上 107	同	同	1	さえぎり
		柳川 樽姫の滝上 108	同	同	1	さえぎり
		柳川 河原の湯横 108	同	同	2	さえぎり
		柳川 河原～泉野小 108	同	同	2	さえぎり
		柳川 泉野小上 108	同	同	1	さえぎり
		柳川 泉野小上 109	同	同	1	さえぎり
		グリーンヒルズ団地上 129	午前9時	同	1	さえぎり
		白樺湖 北西岸 310	午後4時	同	2	さえぎり
		白樺湖 すずらの湯裏 310	同	同	2	さえぎり
		上川 通勤バイパス口 81	6月9日 午前8時	同	2	さえぎり
		上川 運動公園大橋下 82	6月15日 午前8時	曇り	6	さえぎり
		上川 陸上グラウンド横 82	同	同	1	さえぎり

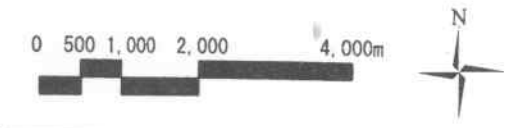
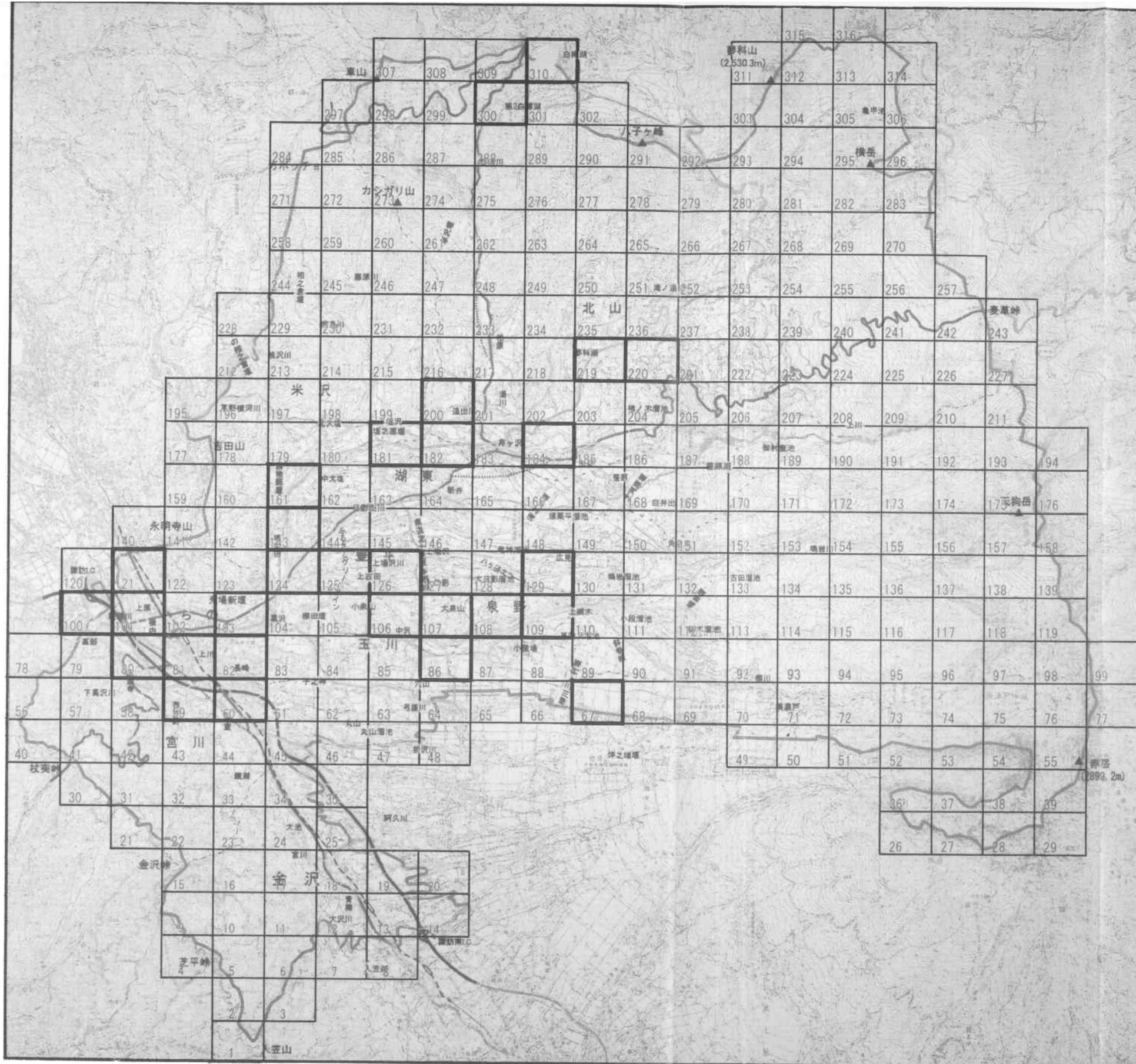
「身近な生きもの調べ」調査結果一覧表

NO.	生きもの名前と番号		見つけた場所とその番号	見つけた日	見つけた日時	天気	見つけた数	気付いた事
		9						
	オオヨシキリ		上川 スケート横	6月15日	午前8時	曇り	1	さえぎり
			上川 スケート上	同		同	1	さえぎり
			上川 粟沢橋上	同		同	1	さえぎり
			音無川 馬流橋下	同	午後2時	同	1	さえぎり
			音無川 滝の湯川合流	同		同	1	さえぎり
			音無川 滝の湯川合流	同		同	2	さえぎり
			上川 渋川合流	同		同	1	さえぎり
			上川 渋川合流下	同		同	1	さえぎり
			上川 塩沢発電所下	同	午後3時	同	1	さえぎり
			上川 塩沢大橋上	同		同	1	さえぎり
			上川 中大塩入口橋上	同		同	2	さえぎり
			上川 中大塩入口橋下	同		同	3	さえぎり
			上川 前島川合流	同		同	1	さえぎり
			上川 福沢大橋上	同		同	1	さえぎり
			上川 福沢大橋下	同		同	1	さえぎり
			上川 仲町横	同		同	1	さえぎり
			上川 鉄橋上	同	午後4時	同	1	さえぎり
			上川 鉄橋下	同		同	1	さえぎり
			上川 リバーサイド裏	同		同	2	さえぎり

生きもの調べメッシュ地図

凡例

- 行政界 
- 地区境界 
- 高速道路 
- 国道 
- 県道 
- 市道 
- 河川 
- 主な堰 
- 湖沼・ため池 



八ヶ岳麓文芸館寄贈資料目録

萩原儀久*
小堀幸恵**

1、はじめに

平成12年10月13日に八ヶ岳麓文芸館が開設されて、3年半になる。

文芸館は茅野市を中心とした八ヶ岳山麓地帯（山浦地方と呼ばれる）を中心とした、文化活動の記録を保存し、後世へ伝えるため、八ヶ岳総合博物館の一室に設けられ、展示を行っている。

翌年の平成13年度には文芸館開設一周年記念の特別展として、郷土のアララギ派歌人、篠原志都児を取り上げ、その生涯と交友をテーマとした展示を行った。そのほか岳麓に残る文芸資料をお借りし、コーナーごとに岳麓で活躍した文化人を紹介するなど、より地域に密着した文芸館を目指し、運営してきた。

また、藤村研究で御尽力頂いている伊東一夫先生より、藤村の妻である島崎静子の関係資料のご寄贈もあり、藤村コーナーに、女性文学に関する展示が充実し、藤村とその周辺に関する展示が深みを増してきている。

この機会に文芸館にご理解いただき、ご協力くださった方々より寄せられた寄贈品を報告したい。

2、寄贈資料目録

開館より3年半、文芸館は多くの理解者に恵まれ、たくさんの資料の寄贈を受けている。主に文芸に関する書籍、雑誌の寄贈となっており、今回は年度ごとに一覧を作成し、その年にどのような寄贈が行われたのかをまとめている。

また、雑誌については平成13年度から15年度までの雑誌一覧を作成し、まとめている。

平成15年度までの寄贈資料は次に示す通りである。

*八ヶ岳麓文芸館担当

**八ヶ岳総合博物館職員

平成13年度 八ヶ嶽岳麓文芸館 寄贈品一覧

寄贈年月日	寄贈者名	資料名	品目	分類	数量
2001. 4. 10	丸茂伊一	短歌短冊	短冊	短歌	1
2001. 4. 10	丸茂伊一	短歌短冊	短冊	短歌	1
2001. 4. 10	丸茂伊一	短歌短冊	短冊	短歌	1
2001. 4. 10	丸茂伊一	短歌短冊	短冊	短歌	1
2001. 4. 14	松沢志乃	『白樺』	書籍	短歌	1
2001. 4. 14	松沢志乃	『山麓』	書籍	短歌	1
2001. 4. 17	小平弘達	『雪割草』	書籍	俚謡	1
2001. 4. 17	小平弘達	俚謡短冊	短冊	俚謡	1
2001. 4. 20	荻原儀久	『薬手』	書籍	俳句	1
2001. 4. 20	荻原儀久	『釜無山』	書籍	短歌	1
2001. 4. 20	荻原儀久	『山と宿』	書籍	短歌	1
2001. 4. 20	竹内清	『二輪草』	書籍	俚謡	1
2001. 4. 20	竹内清	俚謡短冊	短冊	俚謡	1
2001. 4. 20	竹内清	俚謡短冊	短冊	俚謡	1
2001. 4. 27	原三木夫	『松輪雑感』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『中村憲吉全歌集』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『宿墨詠歌』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『岡麓書話』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『岡麓筆談二』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『あららぎ故人歌集第一』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『青野風』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『随縁集』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『続随縁集』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『伝田青磁歌集』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『やまなみ』	書籍	短歌 俳句	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『菅沼知至遺歌集』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『峡の門』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『続峡の門』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『至心集』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『続至心集』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『一日一詠集』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『続一日一詠集』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『アララギ年刊歌集』	書籍	短歌	2
2001. 4. 27	北澤敏郎	『諏訪短歌集』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『支那事变短歌集』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『森の音』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『森の音補遺』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『からまつ林』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『豚飼ひのうた』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『松輪雑感』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『過去』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『この道』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『小池臣集・京都十二年』	書籍	短歌	1

寄贈年月日	寄贈者名	資料名	品目	分類	数量
2001. 4. 27	北澤敏郎	『夕菅の花』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『月蔵山』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『紅の砂』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『みずうみ』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『瀬音』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『森山よしの歌集』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『冬の虹』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『土田きみ子歌集』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『樹氷抄』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『柊の花』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『四十年』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『機関車』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『アララギ農民歌人十人集』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『吉井源一歌集』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『天と地』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『空をながめて』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『二人静』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『畦道』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『もくれん』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『うぶすなの森三人集』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『竹煮草』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『続竹煮草』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『とろろあふひ』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『月かげの下』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『夏野の雪』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『航跡』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『北沢春彦歌集』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『里山』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『紫苑』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『白衣』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『コスモスの尾根』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『月かげ抄』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『釜無の雲』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『平安集』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『染心集』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『紺いろの靴』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『万葉集の被服文化』上下	書籍	短歌	2
2001. 4. 27	北澤敏郎	『夏雲』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『やまぶき』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『地上徜徉』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『続地上徜徉』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『インディオ賛歌』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『野あざみ』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『岩ひば』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『坂の街』	書籍	短歌	1

寄贈年月日	寄贈者名	資料名	品目	分類	数量
2001. 4. 27	北澤敏郎	『街の曇り』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『テニアン島の歌人』	書籍	短歌	1
2001. 4. 27	北澤敏郎	『寒椿』	書籍	短歌	1
2001. 5. 10	北澤敏郎	『靴』	書籍	短歌	1
2001. 5. 10	荻原儀久	『蓼科高原』	書籍	随筆	1
2001. 5. 10	小林充利	『私の足あと』	書籍	随筆	1
2001. 5. 10	荻原儀久	『新野』	書籍	短歌	1
2001. 5. 10	荻原儀久	『続新野』	書籍	短歌	1
2001. 5. 10	荻原儀久	『信濃文学風土記』	書籍	文学研究	1
2001. 5. 10	荻原儀久	『草の連鎖』	書籍	詩	1
2001. 5. 16	藤原正広	『流れる星は生きている』	書籍	随筆	1
2001. 5. 16	藤原正広	『わが夫新田次郎』	書籍	随筆	1
2001. 5. 16	藤原正広	『旅路』	書籍	随筆	1
2001. 5. 16	藤原正広	『折々の菜』	書籍	随筆	1
2001. 5. 16	藤原正広	『たけき流れに』	書籍	随筆	1
2001. 5. 16	藤原正広	『絆』	書籍	随筆	1
2001. 5. 16	藤原正広	『運命』	書籍	随筆	1
2001. 5. 16	藤原正広	『家族』	書籍	随筆	1
2001. 5. 17	両角亮一	両角福自筆短冊	短冊	短歌	1
2001. 5. 17	両角亮一	両角福自筆短冊	短冊	短歌	1
2001. 5. 17	両角亮一	両角福自筆短冊	短冊	短歌	1
2001. 5. 17	両角亮一	両角福自筆短冊	短冊	短歌	1
2001. 5. 17	両角亮一	両角福自筆短冊	短冊	短歌	1
2001. 5. 17	両角亮一	両角福自筆短冊	短冊	短歌	1
2001. 5. 17	両角亮一	両角福自筆短冊	短冊	短歌	1
2001. 5. 17	両角亮一	竹舟郎自筆短冊	短冊	俳句	1
2001. 5. 17	両角亮一	竹舟郎自筆短冊	短冊	俳句	1
2001. 5. 17	両角亮一	竹舟郎自筆短冊	短冊	俳句	1
2001. 5. 17	両角亮一	竹舟郎自筆短冊	短冊	俳句	1
2001. 5. 17	両角亮一	竹舟郎自筆短冊	短冊	俳句	1
2001. 5. 17	北澤敏郎	『歌言葉考現学』	書籍	短歌	1
2001. 5. 17	北澤敏郎	『柿蔭山房と周辺の植物』	書籍	短歌	1
2001. 5. 17	北澤敏郎	『カンナの咲く道』	書籍	短歌	1
2001. 5. 17	北澤敏郎	『遠き町の灯』	書籍	短歌	1
2001. 5. 17	北澤敏郎	『扇状地』	書籍	短歌	1
2001. 5. 17	茅野武	『雪あかり』	書籍	俳句	1
2001. 5. 25	篠原敬博	蓼科山歌	掛軸 拓本	短歌	1
2001. 5. 25	篠原敬博	志都児歌碑	掛軸 拓本	短歌	1
2001. 5. 25	篠原敬博	高原一遊	掛軸 拓本	俳句	1
2001. 6. 1	岩下貞保	『野にありて』	書籍	短歌	1
2001. 7. 18	田中一男	『茅野市のわらべうた』	書籍	民謡	1
2001. 7. 18	田中一男	『諏訪地方の伝承歌』	書籍	民謡	1
2001. 7. 18	田中一男	『戦中戦後の体験記』	書籍	随筆	6
2001. 7. 18	小尾郊一	『教育者小尾喜作遺稿と追憶』	書籍	随筆 短歌	1
2001. 8. 29	両角国見	『北山』	書籍	俳句	1

寄贈年月日	寄贈者名	資料名	品目	分類	数量
2001. 9. 4	原天明	『雲の子』	書籍	俳句	1
2001. 9. 10	荻原儀久	『信濃の赤彦』	書籍	短歌	1
2001. 9. 10	荻原儀久	『島木赤彦炎の道』	書籍	短歌	1
2001. 10. 10	荻原儀久	『秋山岳峰文学集』	書籍	小説	3
2001. 10. 10	荻原儀久	『赤彦先生と金原省吾』	書籍	随筆	1
2001. 10. 10	荻原儀久	『蓼科の花束』	書籍	随筆・詩文集	1
2001. 10. 10	荻原儀久	『樹上樹下』	書籍	短歌	1
2001. 10. 15	宮坂みよし	『いわし雲』	書籍	俳句	1
2001. 10. 20	両角浩三	『妻に捧ぐ追悼の詩』	書籍	俳句	1
2001. 11. 20	佐久吉文	『ルンゼに立つ女』	書籍	小説	1
2001. 11. 21	大久保千鶴子	『小松三郎左衛門』	書籍	小説	1
2001. 11. 25	長田五郎	『信州白樺・長田新特集』	書籍	伝記	1
2001. 11. 25	長田五郎	『原爆の子』	書籍	随筆集	1
2002. 1. 18	堀晃	『民衆のうた考』	書籍	俚謡	1
2002. 1. 18	堀晃	『俚謡入門』	書籍	俚謡	1
2002. 1. 18	堀晃	『万年青』（おもと）	書籍	俚謡	1
2002. 1. 18	堀晃	『りんごの花びら』	書籍	俚謡	1
2002. 1. 18	堀晃	『花野』	書籍	俚謡	1
2002. 1. 18	堀晃	『分水嶺』	書籍	俚謡	1
2002. 1. 18	堀晃	『黄楊の樹』	書籍	俚謡	1
2002. 1. 18	堀晃	『白樺』	書籍	俚謡	10

平成14年度 八ヶ嶽岳麓文芸館 寄贈品一覧

寄贈年月日	寄贈者名	資料名	品目	分類	数量
2002. 5. 18	藤森里美	『座標』	書籍	詩	1
2002. 5. 18	大久保千鶴子	『昭和萬葉集』	書籍	短歌	21
2002. 5. 23	小泉悦夫	『二輪草』	書籍	俚謡	1
2002. 5. 23	小泉悦夫	『雪割草』	書籍	俚謡	1
2002. 5. 23	小泉悦夫	『深山一花』	書籍	随筆	1
2002. 5. 23	小泉悦夫	『やまうら風土記』	書籍	随筆	1
2002. 5. 23	小泉悦夫	『ありがとうNAGANOボランティア日記』	書籍	随筆	1
2002. 5. 23	小泉悦夫	『菊枕』	書籍	俳句	1
2002. 5. 23	小泉悦夫	『サンタさんいるってしんじたいな』	書籍	詩	1
2002. 5. 23	小泉悦夫	『富士見高原の民話』	書籍	民話	1
2002. 5. 23	小泉悦夫	『吾が青春に悔いなし』	書籍	自分史	1
2002. 5. 23	小泉悦夫	『日々の旋律』	書籍	詩	1
2002. 5. 23	小泉悦夫	『雪形』	書籍	俳句	1
2002. 5. 25	島田紀孝	『奥羽本線夏紀行』	書籍	小説	1
2002. 5. 26	原田泰	『門川の音』	書籍	短歌	1
2002. 6. 26	田中一男	『諏訪地方の三大民話』	書籍	民謡	1
2002. 6. 26	田中一男	『蛙石とカエル』	書籍	民話	1
2002. 7. 28	神戸照子	『秋桜』	書籍	詩集	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『赤彦全集』	書籍	短歌	10
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『新訓萬葉集』	書籍	短歌	2
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『古今和歌集』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『万葉三ツ歌物語』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『太虚集』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『文学直路』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『短歌の書』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『伊藤左千夫』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『島木赤彦の研究』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『島木赤彦周辺研究』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『島木赤彦と篠原志都児』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『アララギの巨匠たち』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『赤彦先生と金原省吾』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『島木赤彦』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『評伝島木赤彦』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『続信濃の赤彦』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『島木赤彦炎の道』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『斎藤茂吉の研究』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『中村憲吉の研究』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『土屋耕平論』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『中村憲吉歌と人』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『中村憲吉歌と人』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『短歌一家言』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『信州歌人伝一』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『信州の歌人たち』	書籍	短歌	1

寄贈年月日	寄贈者名	資料名	品目	分類	数量
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『近代の歌人一』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『アララギ派歌人高田浪吉』(上)	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『歌人小泉千樫』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『短歌の道』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『信濃文学風土記』	書籍	随筆	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『歌人風土記』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『松井芒人論』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『今井邦子の短歌と生涯』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『信濃の歌と人』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『歌の美意識』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『信濃の歌人新井章論』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『信州伊那谷の歌人群像』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『山梨県アララギ系物故歌人伝』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『日本の児童文学』1総論	書籍	文学	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『島木赤彦』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『寂寥』	書籍	短歌	2
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『槻かげ』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『のろし火』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『扇状地』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『鋏柄集』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『霧雨』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『戸倉山』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『雨の音』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『ふか谷』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『湖の色』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『梓山集』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『続々梓山集』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『平安集』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『この道』	書籍	短歌	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『諏訪湖物語』	書籍	随筆	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『八十八夜』	書籍	俳句	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『万年青』(おもと)	書籍	俚謡	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『羽音』	書籍	俳句	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『はばたき』	書籍	俳句	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『ある心の風景』	書籍	詩集	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『ささなぎの湖』	書籍	歌集	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『松虫草』	書籍	歌集	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『雑草』	書籍	歌集	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『入野谷』	書籍	歌集	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『朝日歌壇』	書籍	歌集	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『現代日本文学大系59』	書籍	全集	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『千曲川』	書籍	歌集	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『緑の窓』	書籍	歌集	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『向こうの空』	書籍	歌集	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『残燭』	書籍	歌集	1

寄贈年月日	寄贈者名	資料名	品目	分類	数量
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『旅の虹』	書籍	歌集	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『春の小徑』	書籍	歌集	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『続石行』	書籍	歌集	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『花時計』	書籍	歌集	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『霧』	書籍	歌集	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『雲影』	書籍	歌集	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『花野』	書籍	歌集	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『四階に来る小鳥』	書籍	歌集	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『助産婦賛歌』	書籍	歌集	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『石行』	書籍	歌集	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『過去』	書籍	歌集	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『真実を求めて』	書籍	歌集	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『天と地』	書籍	歌集	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『空をながめて』	書籍	歌集	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『わが路』	書籍	歌集	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『風にのる砂』	書籍	歌集	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『明日よりあすへ』	書籍	歌集	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『峠路』	書籍	歌集	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『胡桃』	書籍	歌集	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『多摩のほとり』	書籍	歌集	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『やまぶき』	書籍	歌集	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『航跡』	書籍	歌集	1
2002. 8. 2	矢崎孟伯	『万葉秀歌』上、下	書籍	歌集	2
2002. 9. 10	荻原儀久	『鈴鴨』	書籍	句集	1
2002. 8. 29	伊東一夫	藤村着用衣	着物	衣類	1
2002. 10. 3	北澤敏郎	短歌 書	書	短歌	1
2002. 10. 27	伊東一夫	『夜明け前』第1部、第2部	書籍	小説	2
2002. 10. 27	伊東一夫	『夜明け前』第1部、第2部	書籍	小説	2
2002. 10. 27	伊東一夫	『春』	書籍	小説	1
2002. 10. 27	伊東一夫	『破戒』	書籍	小説	1
2002. 10. 27	伊東一夫	『家』上巻、下巻	書籍	小説	1
2002. 10. 27	伊東一夫	『うらわかくさ』	書籍	小説	1
2002. 10. 27	伊東一夫	『処女地』	書籍	雑誌	8
2002. 10. 27	伊東一夫	ブラジルの碑	掛軸	短歌	2
2002. 10. 27	伊東一夫	『夜明け前』原稿	掛軸	原稿(複製)	1
2002. 10. 27	伊東一夫	透谷の書(拓本)	掛軸	書	1
2002. 10. 27	伊東一夫	『新生』自筆原稿	フィルム	自筆原稿	3
2002. 10. 27	伊東一夫	『三四郎』	フィルム	自筆原稿	2
2002. 10. 27	伊東一夫	廣助兄宛自筆手紙と封筒	書簡	手紙	1
2002. 10. 27	伊東一夫	静子夫人から藤村に宛てた手紙	書簡	手紙	1
2002. 10. 27	伊東一夫	藤村が伊東一夫へ宛てた手紙と『簡素』の字	書簡	手紙	1
2002. 10. 27	伊東一夫	藤村ブラジルからの葉書	書簡	葉書	3
2002. 10. 27	伊東一夫	メモ帳(い)(ろ)	冊子	メモ	2
2002. 11. 17	北澤敏郎	『岳麓集』	書籍	歌集	1
2003. 2. 1	清水忠基	『歌集山河有情』	書籍	歌集	1

寄贈年月日	寄贈者名	資料名	品目	分類	数量
2003. 2. 9	清水忠基	『しみずただもと作品集』	書籍	歌集	1
2003. 2. 6	両角志都子	『裾野』	書籍	歌集	1
2003. 2. 9	清水忠基	短歌色紙	短歌	色紙	3
2003. 3. 20	原田頼子	『赤い鳥』	書籍	雑誌	18
2003. 3. 20	北澤敏郎	『雉夫集』	書籍	歌集	1
2003. 3. 20		『寒水伊藤長七伝』	書籍	伝記	1
2003. 2. 1	山下肇	『蓼科幾歲月』	書籍	随筆	1
2003	北澤敏郎	『望岳』	書籍	歌集	1
2003. 1. 25	伊藤翠	『歌集櫻しべ』	書籍	歌集	1

平成15年度 八ヶ嶽岳麓文芸館 寄贈品一覧

寄贈年月日	寄贈者名	資料名	品目	分類	数量
2003. 4. 16	保科一郎	『冬の蛙』	書籍	歌集	1
2003. 4. 20	宮坂恒子	『雪底』	書籍	句集	1
2003. 5. 2	佐久吉文	『乙事の信心山岳信仰』	書籍	民俗	1
2003. 6	考古館	『かたかご』	書籍	歌集	1
2003. 5. 17	五味章	『傘寿記念夫婦歌集愛の絆』	書籍	歌集	1
2003. 7. 3	永田暢男	『概説信濃雅人墨跡小史』	書籍	研究書	5
2003. 7. 5	茅野慶二	『藤村児童読本』	書籍	小説	1
2003. 7. 5	茅野慶二	『わらべ唄風土記』	書籍	研究書	1
2003. 7. 5	茅野慶二	『諏訪の民謡』	書籍	歌集	1
2003. 8. 12	平島正章	『北山の君へ』	書籍	資料集	1
2003. 8. 16	牛山来男	『藍歌』	書籍	歌集	1
2003. 8. 20	牛山ゆう子	『コスモスの尾根』	書籍	歌集	1
2003. 8. 20	牛山ゆう子	『みづこだま』	書籍	歌集	1
2003. 8. 20	牛山ゆう子	『魚の耳』	書籍	歌集	1
2003. 8. 19	平島正章	『諏訪湖物語』	書籍	随筆	1
2003. 8. 5	中村琳	『湖国里謡作品集』	切抜	里謡	1
2003. 8. 4	今井久榮	赤彦六曲半双金屏風	屏風	短歌	1
2003. 9. 1	永由桃介	『山道』	書籍	短歌	1
2003. 8. 30	林嘉志郎	『枯れて輝く』	書籍	雑誌	1
2003. 9. 25	中村晴美	『あしあと』	書籍	歌集	1
2003. 10. 9	伊藤翠	『櫻しべ』	書籍	歌集	1
2003. 10. 9	原天明	『雲の子』	書籍	句集	2
2003. 10. 9	原天明	『鈴鴨』	書籍	句集	2
2003. 10. 9	原天明	『もみの木』	書籍	句集	2
2003. 1	小尾博巳	『岳笑う』	書籍	随筆	1
2003. 12. 10	森本アヤ子	『遠い日のひとりごと』	書籍	詩集	1
2003. 7. 29	金原卓郎	金原省吾「赤彦先生のこと」	カセットテープ	公演録音	1
2003. 7. 29	金原卓郎	赤彦直筆『堀内卓歌集』	書籍	歌集	1
2003. 7. 29	金原卓郎	赤彦書簡集Ⅰ・Ⅱ	書簡	書簡集	2
2003. 7. 29	金原卓郎	条幅、色紙等資料集成	ファイル	資料集	1
2003. 7. 29	金原卓郎	『歌集山草集』	書籍	歌集	1
2003. 12	藤森里美	『眠るのはまだ早いよ』	書籍	詩集	1
2003. 11. 18	平島正章	俳句短冊	俳句	短冊	1
2003. 11. 18	平島正章	俳句短冊	俳句	短冊	1
2003. 11. 18	平島正章	俳句短冊	俳句	短冊	1
2003. 11. 18	平島正章	俳句短冊	俳句	短冊	1
2003. 11. 18	平島正章	俳句短冊	俳句	短冊	1
2003. 11. 18	平島正章	俳句短冊	俳句	短冊	1
2003. 10. 18	小平功	『新字鑑』	書籍	辞書	1
2003. 10. 18	小平功	『廣辭林』	書籍	辞書	1
2003. 10. 18	小平功	『芥川龍之介作品集』 第1巻～第4巻	書籍	小説	4
2003. 10. 18	小平功	『長塚節全集』 第一巻～第六巻	書籍	全集	6
2003. 10. 18	小平功	『小泉八雲全集』	書籍	全集	12

寄贈年月日	寄贈者名	資料名	品目	分類	数量
2003. 10. 18	小平功	『子規全集』	書籍	全集	15
2003. 10. 18	小平功	『信濃路』 道と文化①②③ 信州の美と宝⑧⑨	書籍	雑誌	5
2003. 10. 18	小平功	『新校七番日記』 上下	書籍	句集	2
2003. 10. 18	小平功	『漱石全集』	書籍	全集	18
2003. 10. 18	小平功	『國木田獨歩全集』	書籍	全集	5
2003. 10. 18	小平功	『高山と高山植物』	書籍	図鑑	1
2003. 11. 24	金原卓郎	『言語美学』	書籍	研究書	1
2003. 11. 24	金原卓郎	『東洋美術論』	書籍	研究書	1
2003. 11. 24	金原卓郎	『國語の風格』	書籍	研究書	1
2003. 11. 24	金原卓郎	『形成』	書籍	雑誌	1
2003. 11. 24	金原卓郎	『裾野集』	書籍	歌集	1
2003. 11. 24	金原卓郎	『赤彦先生と金原省吾』	書籍	随筆	1
2003. 11. 24	金原卓郎	金原省吾・よしを資料集	ファイル	資料集	2
2003. 12. 10	森本アヤ子	『からたち』	書籍	詩誌	1
2004. 1. 25	龜山桃子	『白桃』	書籍	書評集	1
2004. 1. 25	龜山桃子	『桃李』	書籍	歌評集	1
2004. 1. 27	島田紀孝	『タルタロス』	書籍	詩集	1

平成13年度～15年度 八ヶ嶽岳麓文芸館 寄贈雑誌一覧

資料名	雑誌号数	寄贈社名	数量
『ヒム口』	2001. 第4号	ヒム口社	1
『ゆすりか』	43号. 2000年冬	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	44号. 2000年春	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	45号. 2000年夏	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	46号. 2000年秋	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	48号. 2001年春	ゆすりか社	1
『ヒム口』	2001. 第5号	ヒム口社	1
『白路』	第56巻第3号	白路社	1
『白路』	第56巻第5号	白路社	1
『白路』	第56巻第4号	白路社	1
『白路』	第56巻第6号	白路社	1
『白路』	第56巻第7号	白路社	1
『ヒム口』	2001. 第6号	ヒム口社	1
『ヒム口』	2001. 第7号	ヒム口社	1
『きたやま』	第1集	北山短歌会	1
『きたやま』	第2集	北山短歌会	1
『きたやま』	第3集	北山短歌会	1
『きたやま』	第4集	北山短歌会	1
『かしわばら』	第11集	柏原短歌会	1
『かしわばら』	第13集	柏原短歌会	1
『かしわばら』	第14集	柏原短歌会	1
『かしわばら』	第15集	柏原短歌会	1
『かしわばら』	第16集	柏原短歌会	1
『かしわばら』	第20集	柏原短歌会	1
『かしわばら』	第21集	柏原短歌会	1
『かしわばら』	第22集	柏原短歌会	1
『かしわばら』	第23集	柏原短歌会	1
『かしわばら』	第24集	柏原短歌会	1
『かしわばら』	第25集	柏原短歌会	1
『かしわばら』	第26集	柏原短歌会	1
『白路』	第56巻第8号	白路社	1
『白路』	第56巻第9号	白路社	1
『ヒム口』	2001. 第9号	ヒム口社	1
『白路』	第56巻第10号	白路社	1
『ヒム口』	2001. 第10号	ヒム口社	1
『白路』	第56巻第11号	白路社	1
『ヒム口』	2001. 第11号	ヒム口社	1
『白路』	第56巻第12号	白路社	1
『ヒム口』	2001. 第12号	ヒム口社	1
『窃盗戦争 藤森里美詩集』		ゆすりか社	1
『白路』	第57巻第1号	白路社	1
『ヒム口』	2002. 新年号	ヒム口社	1
『白路』	第57巻第2号	白路社	1

資料名	雑誌号数	寄贈社名	数量
『白路』	第51巻第9号	白路社	1
『白路』	第51巻第10号	白路社	1
『白路』	第51巻第11号	白路社	1
『白路』	第51巻第12号	白路社	1
『白路』	第52巻第1号	白路社	1
『白路』	第52巻第2号	白路社	1
『白路』	第52巻第3号	白路社	1
『白路』	第52巻第4号	白路社	1
『白路』	第52巻第5号	白路社	1
『白路』	第52巻第6号	白路社	1
『白路』	第52巻第7号	白路社	1
『白路』	第52巻第8号	白路社	1
『白路』	第52巻第9号	白路社	1
『白路』	第52巻第10号	白路社	1
『白路』	第52巻第11号	白路社	1
『白路』	第52巻第12号	白路社	1
『白路』	第53巻第1号	白路社	1
『白路』	第53巻第2号	白路社	1
『白路』	第53巻第3号	白路社	1
『白路』	第53巻第3号	白路社	1
『白路』	第53巻第4号	白路社	1
『白路』	第53巻第5号	白路社	1
『白路』	第53巻第6号	白路社	1
『白路』	第53巻第7号	白路社	1
『白路』	第53巻第8号	白路社	1
『白路』	第53巻第9号	白路社	1
『白路』	第53巻第10号	白路社	1
『白路』	第53巻第11号	白路社	1
『白路』	第53巻第12号	白路社	1
『白路』	第54巻第1号	白路社	1
『白路』	第54巻第2号	白路社	1
『白路』	第54巻第3号	白路社	1
『白路』	第54巻第4号	白路社	1
『白路』	第54巻第5号	白路社	1
『白路』	第54巻第6号	白路社	1
『白路』	第54巻第7号	白路社	1
『白路』	第54巻第8号	白路社	1
『白路』	第54巻第9号	白路社	1
『白路』	第54巻第10号	白路社	1
『白路』	第54巻第11号	白路社	1
『白路』	第54巻第12号	白路社	1
『白路』	第55巻第1号	白路社	1
『白路』	第55巻第2号	白路社	1
『白路』	第55巻第3号	白路社	1
『白路』	第55巻第4号	白路社	1

資料名	雑誌号数	寄贈社名	数量
『白路』	第55巻第5号	白路社	1
『白路』	第55巻第6号	白路社	1
『白路』	第55巻第7号	白路社	1
『白路』	第55巻第8号	白路社	1
『白路』	第55巻第9号	白路社	1
『白路』	第55巻第10号	白路社	1
『白路』	第55巻第11号	白路社	1
『白路』	第55巻第12号	白路社	1
『白路』	第56巻第1号	白路社	1
『白路』	第56巻第2号	白路社	1
『白桃』	第40号夏	白桃短歌会	1
『白桃』	第41号秋	白桃短歌会	1
『白桃』	第42号冬	白桃短歌会	1
『白桃』	第43号春	白桃短歌会	1
『白桃』	第44号夏	白桃短歌会	1
『白桃』	第45号秋	白桃短歌会	1
『白桃』	第46号冬	白桃短歌会	1
『白桃』	第47号春	白桃短歌会	1
『白桃』	第48号夏	白桃短歌会	1
『白桃』	第49号秋	白桃短歌会	1
『白桃』	第50号冬	白桃短歌会	1
『をだまき』	第77巻第1号	をだまき社	1
『をだまき』	第78巻第1号	をだまき社	1
『総社・吉備の文学』	平成8年度	総社市教育委員会	1
『総社・吉備の文学』	平成9年度	総社市教育委員会	1
『総社・吉備の文学』	平成11年度	総社市教育委員会	1
『月刊未来山脈』	1996. 5 (No83)	未来山脈社	1
『月刊未来山脈』	1996. 7 (No85)	未来山脈社	1
『月刊未来山脈』	1996. 9 (No87)	未来山脈社	1
『月刊未来山脈』	1996. 10 (No88)	未来山脈社	1
『月刊未来山脈』	1996. 11 (No89)	未来山脈社	1
『月刊未来山脈』	1996. 12 (No90)	未来山脈社	1
『月刊未来山脈』	1997. 1 (No91)	未来山脈社	1
『月刊未来山脈』	1997. 2 (No92)	未来山脈社	1
『月刊未来山脈』	1997. 3 (No93)	未来山脈社	1
『月刊未来山脈』	1997. 4 (No94)	未来山脈社	1
『月刊未来山脈』	1997. 5 (No95)	未来山脈社	1
『月刊未来山脈』	1997. 6 (No96)	未来山脈社	1
『月刊未来山脈』	1997. 7 (No97)	未来山脈社	1
『月刊未来山脈』	1997. 8 (No98)	未来山脈社	1
『抜菜のつづり』	その59	熊平雅人	1
『歌集残夢抄』	第10編	白桃短歌会	1
『歌集風車の歌』	第9編	白桃短歌会	1
『藍の海境』	第7編	白桃短歌会	1
『白路』	第57巻第4号	白路社	1

資料名	雑誌号数	寄贈社名	数量
『ゆすりか』	3号. 1990年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	4号. 1990年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	5号. 1990年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	6号. 1990年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	7号. 1991年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	8号. 1991年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	9号. 1991年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	10号. 1991年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	11号. 1992年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	12号. 1992年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	13号. 1992年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	14号. 1992年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	15号. 1993年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	16号. 1993年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	17号. 1993年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	18号. 1993年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	19号. 1994年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	20号. 1994年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	21号. 1994年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	22号. 1994年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	23号. 1995年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	24号. 1995年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	25号. 1995年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	26号. 1995年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	27号. 1996年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	28号. 1996年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	29号. 1996年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	30号. 1996年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	31号. 1997年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	32号. 1997年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	33号. 1997年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	34号. 1997年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	35号. 1998年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	36号. 1998年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	37号. 1998年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	38号. 1998年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	39号. 1999年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	40号. 1999年	ゆすりか社	1
『ゆすりか』	47号. 2000年冬	ゆすりか社	1
『歳月の遠近法』		ゆすりか社	1
『抜菜のつづり』	その57	熊平雅人	1
『抜菜のつづり』	その58	熊平雅人	1
『抜菜のつづり』	その60	熊平雅人	1
『ヒム口』	2002. 第4号	ヒム口社	1
『ヒム口』	2002. 第5号	ヒム口社	1

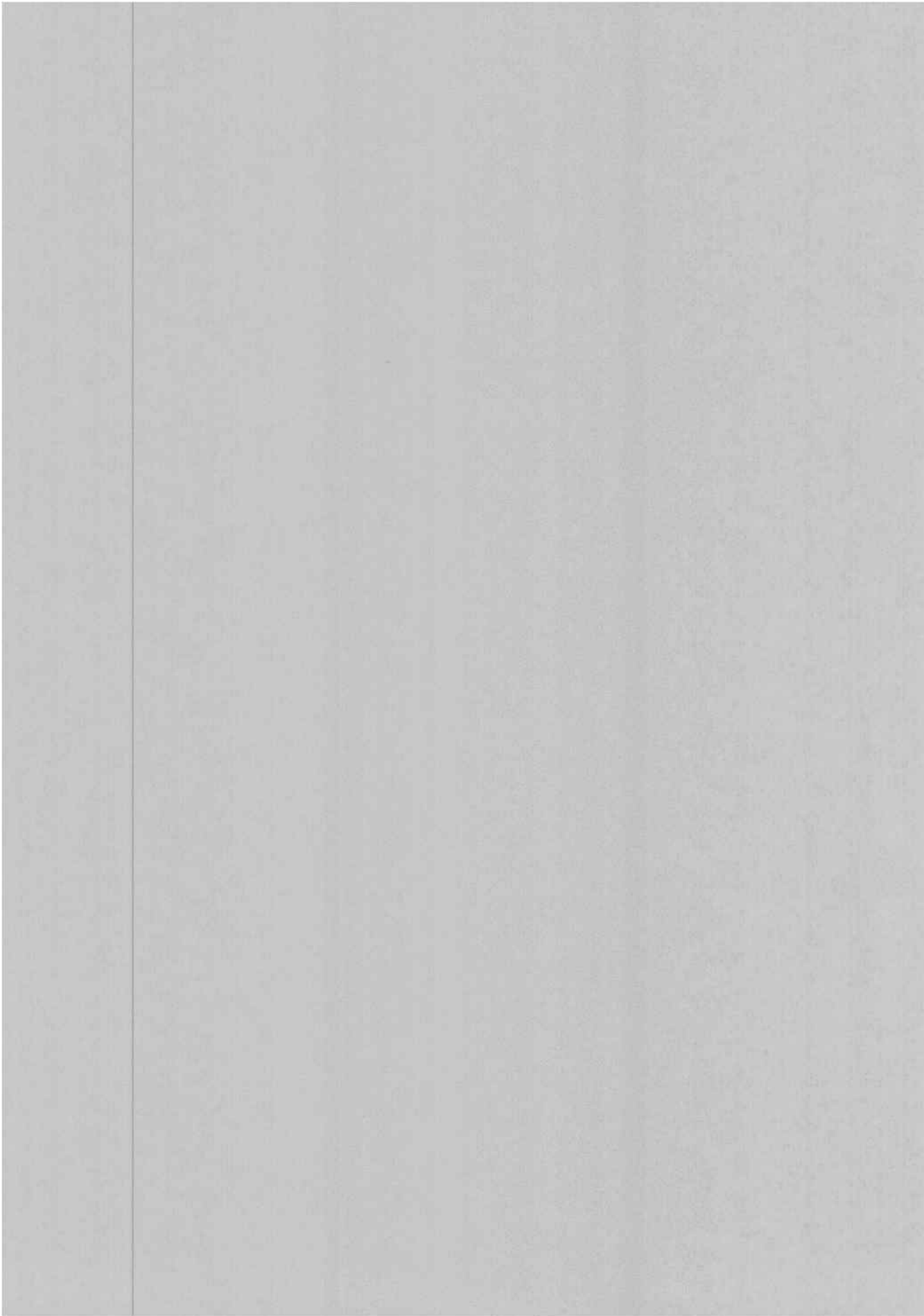
資料名	雑誌号数	寄贈社名	数量
『ヒムロ』	2002. 第6号	ヒムロ社	1
『ゆすりか』	53号. 2002年夏	ゆすりか社	1
『ヒムロ』	2002. 第7号	ヒムロ社	1
『抜菜のつづり』	その61	熊平雅人	1
『ヒムロ』	2002. 第8号	ヒムロ社	1
『ヒムロ』	2002. 第9号	ヒムロ社	1
『処女地』		伊東一夫	8
『ヒムロ』	2002第10号	ヒムロ社	1
『ヒムロ』	2002第11号	ヒムロ社	1
『ヒムロ』	2002第12号	ヒムロ社	1
『ヒムロ』	2003第2号	ヒムロ社	1
『抜菜のつづり』	その62	熊平雅人	3
『赤い鳥』	一箱12冊程度	原田頼子	18
『ヒムロ』	2003第3号	ヒムロ社	1
『総社・吉備の文学』	平成14年	総社市教育委員会	1
『ヒムロ』	2003第4号	ヒムロ社	1
『ヒムロ』	2003第5号	ヒムロ社	1
『ヒムロ』	2003第6号	ヒムロ社	1
『ヒムロ』	2003第7号	ヒムロ社	1
『ヒムロ』	2003第8号	ヒムロ社	1
『ヒムロ』	2003第9号	ヒムロ社	1
『枯れて輝く』		林嘉志郎	1
『ヒムロ』	2003第10号	ヒムロ社	1
『あさかげ』	2003第1号	小林正一	1
『あさかげ』	2003第2号	小林正一	1
『あさかげ』	2003第3号	小林正一	1
『あさかげ』	2003第4号	小林正一	1
『あさかげ』	2003第5号	小林正一	1
『あさかげ』	2003第6号	小林正一	1
『あさかげ』	2003第7号	小林正一	1
『あさかげ』	2003第8号	小林正一	1
『あさかげ』	2003第9号	小林正一	1
『あさかげ』	2003第10号	小林正一	1
『あさかげ』	2003第11号	小林正一	1
『ヒムロ』	2003第11号	ヒムロ社	1
『ヒムロ』	2003第12号	ヒムロ社	1
『あさかげ』	2003第12号	小林正一	1
『ヒムロ』	2004第1号	ヒムロ社	1

3、今後について

当館も開館3年半となり、岳麓の文化人の認知度もあがってきている。歌会、句会などで訪れ、作歌、発句の勉強のための利用や、文芸に興味のある団体から問い合わせを受け、ご来館いただくこともしばしばである。また、岳麓文化の現代を担う文化人たちの資料や書籍も多く、これら書籍の閲覧のため訪れる来館者も増えてきている。

現在、資料の充実、認知度を深めるため、歌会はじめ、文芸講演会、文学碑めぐりなどの講座を行いどれも好評を博しており、今後も興味深い講座を用意し、地域の人々の生涯学習の場となっていけば幸いである。

今年度は今井久榮氏より、島木赤彦の「六曲半双金屏風」の寄贈があり、館の目玉ができたことにより、文芸館資料はより一層の厚みを増してきており、これを追い風にして館の発展を目指していきたいと考えている。



平成 15 年度茅野市八ヶ岳総合博物館事業報告

1. 入館者数 4/1 から 3/31 入館者数 15,722 人(前年比 3801 人増)

2. 寄贈資料

- ①河内晋平八ヶ岳火山岩石約 12000 点、書籍類 7500 点 6月1日寄贈式
- ②「赤彦六曲半双金屏風」今井久栄氏より 8月5日寄贈式

3. 企画展

①小林政紘「山の花植物原画展」6/14-8/3

八ヶ岳周辺を中心に北海道までの植物を詳細に描いた
原画約 60 点

ギャラリートーク 7月13日 講師「小林政紘」
「私の花の旅」 60 人

スケッチ教室 7月20, 21日講師「小林政紘」
蓼科ピラタス 15 人

②津野祐次写真展「悠久の火山八ヶ岳」8/7-9/28

鋭い風貌の峰と優美な森と湖の写真約 60 点

ライブトーク 8月10日 講師「津野祐次」
「花と花風景の撮り方」 59 人

ライブトーク 9月7日 講師「津野祐次」
「水辺の風景の撮り方」 38 人

③研究・創意工夫展 10月18日から11月30日

市内小中学校 13 校生徒の工作、絵画、研究作品の展示
出品数 243 点

○工作・絵画部門

茅野市長賞	飯島芽美(玉川小1)	首ふり人形キリン
教育委員会賞	小尾昌平(永明小4)	トトロワールド
博物館長賞	上原頌平(米沢小5)	ビー玉ラリー
審査員特別賞	今村早佑里(北山小2)	牛乳パックのふねあそび
	小平健太(湖東小3)	野原をかけぬける馬
	矢島光弘(玉川小6)	東京タワー

○研究部門

茅野市長賞 宮坂あゆみ(豊平小3) 野菜で紙作り

教育委員会賞	樋口泰平(米沢小6)	身近な所のバリアフリー
博物館長賞	竹田百合香(米沢小6)	身の回りの環境調査
審査員特別賞	武井日向子(玉川小6)	日光と色
	藤森崇弘(東部中1)	一日の紫外線の量

4. ふるさと講座

①茅野市の気象	6月7日(土)	講師	植松幹夫	参加者11名
②北八ヶ岳観覧会	7月26日(土)	講師	白鳥保美	参加者20名
③ふるさと水生昆虫	9月6,7日(土日)	講師	茅野靖夫	参加者18名
④凍み豆腐づくり	1月17,18日(土日)	講師	仙石喜一	参加者26名
⑤氷餅づくり	1月31日2月1日	講師	小海長衛	参加者30名

5. 博物館活用指定学級 22学級 655名

7/10	宮川小学校	6年1組	34名	『土器作り』	講師	尖石考古館職員
7/10	宮川小学校	6年3組	35名	尖石縄文考古館見学		
7/17	宮川小学校	6年2組	34名	『まが玉制作』	講師	尖石考古館職員
7/18	永明小学校	6学年	97名	『土器作り』	講師	尖石考古館職員
9/12	泉野小学校	2,4学年	35名	『牛乳パックで紙すき』		
					講師	笠原郁子
10/3	豊平小学校	6年1組	38名	『遺跡発掘体験』		
					講師	尖石考古館職員
11/13	金沢小学校	2学年	17名	『豆腐作り』	講師	笠原郁子
11/14	豊平小学校	2学年	47名	『豆腐作り』	講師	笠原郁子
11/27	玉川小学校	2年1組	32名	『豆腐作り』	講師	笠原郁子
11/28	玉川小学校	2年2組	32名	『豆腐作り』	講師	笠原郁子
12/3	玉川小学校	2年3組	32名	『豆腐作り』	講師	笠原郁子
12/4	玉川小学校	2年4組	33名	『豆腐作り』	講師	笠原郁子
12/5	北山小学校	2年1組	30名	『豆腐作り』	講師	笠原郁子
12/11	米沢小学校	3年1,2組	43名	『天草からところてん』		
					講師	笠原郁子
12/12	米沢小学校	2年1,2組	36名	『豆腐作り』	講師	笠原郁子
1/14	湖東小学校	2学年	26名	『豆腐作り』	講師	笠原郁子
1/16	金沢小学校	3学年	18名	『芋ようかん作り』	講師	笠原郁子
2/5	豊平小学校	3年1,2組	36名	『天草からところてん』		
					講師	笠原郁子

6. 古文書解読事業 講師 細田貴助(博物館専門委員)

- ①古文書相談会 6回延べ29名
 ②古文書解読講座 1月24日から2月15日 8回 参加者34名

7. 観望会

北部生涯学習センターにて毎月実施 講師 大谷勝己(尖石縄文考古館)

10回実施(9回中止) 参加者 137名 2月以降4回予定

①8月7日「夏休み小中学生天文教室」天体望遠鏡製作

②3月26日 天文講演会『太陽の音色』

講師 関井 隆(国立天文台太陽物理学研究系助教授)

③3月27日 春休み天文教室「山梨県立科学館」見学

8. ロビー体験コーナー

4/26	端午の節句を楽しもう	講師	博物館職員	15名
4/27	ビー玉ゲーム	講師	博物館職員	10名
5/24	ブーメランづくり	講師	博物館職員	1名
5/25	ペットボトルロケット	講師	博物館職員	8名
6/21, 22	下駄づくり	講師	博物館職員	9名
7/26	まゆ人形づくり	講師	博物館職員	17名
7/27	昔の玩具	講師	博物館職員	5名
8/16	ペットボトルロケット	講師	博物館職員	13名
8/17	おんべづくり	講師	広瀬勝也	30名
9/27, 28	万華鏡づくり	講師	博物館職員	10名
10/25	組木づくり	講師	博物館職員	2名
11/22	つる細工	講師	博物館職員	8名
11/23	染色(手ぬぐい)	講師	博物館職員	6名
12/20	凧づくり	講師	永田辰春	17名
12/21	しめ飾りづくり	講師	平沢忠由	12名
1/24	ビー玉ゲーム	講師	博物館職員	6名

①機織講座(毎月2回実施)

5月	12名	10月	3名
6月	5名	11月	5名
7月	3名	12月	8名
9月	8名	1月	18名

②ロビー体験発表展示 3/8から4/18

9. 岳麓文芸館事業

8/30 文芸講演会「蓼科よもやま話」 山下 肇 69人

9/21 「文学碑めぐり」 原 天明 29人

・展示替え 小尾俎杖(俳句)
堀のぼる(里謡)

10. 企画事業

①鯉のぼり揚げ 4/24-5/11

②小品盆栽展と野鳥展 12/5-12/21

- ③元旦・博物館まつり 1/1 一部小泉山元旦登山 200人
二部博物館まつり 400人
- ④創作立体風特別展 2/7-2/22

11. 博物館ボランティア活動

- ・探鳥会 4月19日 運動公園周辺 12名
- 5月3日 竜神池周辺 15名
- 12月14日 守矢史料館 10名
- 2月15日 諏訪湖周辺 19名

- ・天文友の会
- ・機織(ねじばな)
- ・山浦の語りべ
- ・子ども科学クラブ
- ・自然

12. その他

- 博物館協議会
- 博物館専門委員会
- 博物館、文化財課だより『八ヶ岳通信』第22号発行
- 博物館学習会員 229名
- 紀要発行

博物館協議会委員名簿

<平成15年度>

委員長	篠原敬博
副委員長	飯田美智子
委員	丸茂伊一
委員	小平邦雄
委員	湯田坂正一
委員	津久井英喜
委員	佐藤礼子
委員	両角英晴
委員	松田和正
委員	五味雪子
委員	市田行宏

八ヶ岳総合博物館専門委員会名簿

<平成15年度>

自然(天文)	今井文明
自然(陸水)	浜篤
自然(動物)	下山良平
自然(動物)	白鳥保美
人文(歴史)	細田貴助
人文(民俗)	牛山市弥
人文(民俗)	牛山圭吾
人文(文芸)	伊東一夫
人文(文芸)	北澤敏郎
人文(文芸)	篠原圓平
人文(文芸)	原充
人文(文芸)	北澤平八郎

博物館職員名簿

<平成 15 年度>

館長	小池春夫
係長	五味正幸
主任(学芸員)	大谷勝己 (観望会担当・尖石縄文考古館兼務)
主任(学芸員)	正木美香 (神長官守矢史料館兼務)
主事(学芸員)	笠原郁子
臨時職員	荻原儀久 (文芸館担当)
臨時職員	小堀幸恵
臨時職員	北澤千登勢
臨時職員	長田ひろ子

紀 要 第 12 号 2004 年 3 月 31 日

編集発行 茅野市八ヶ岳総合博物館
〒391-0213 長野県茅野市豊平 6983 番地
TEL 0266 (73) 0300
FAX 0266 (72) 6119
